

# 海洋法に関する国際シンポジウム 「アジアの海における法の支配：平和と安定への航海図」：実施要領

平成27年2月12日(木), 13日(金), 於:三田共用会議所

2月12日(木)

開会の辞： 岸田文雄 外務大臣

基調講演： 柳井俊二 国際海洋法裁判所裁判官・前同裁判所所長

## パネルディスカッション

第一部：「国連海洋法条約に基づく海域における沿岸国の権利と権原」(コーディネーター：河野真理子 早稲田大学法学学術院教授)

トウーリオ・トレヴェス ミラノ大学法学部教授, 元国際海洋法裁判所裁判官

「国連海洋法条約に基づく海域における沿岸国の権利の法的性質」

坂元茂樹 同志社大学法学部教授

「歴史的水域及び権利の再検討：国連海洋法条約との適合性」

西本健太郎 東北大学大学院法学研究科准教授

「400海里未満の海域における延長大陸棚の主張から生じる問題」

第二部：「境界未画定海域の法レジーム」(コーディネーター：坂元茂樹 同志社大学法学部教授)

奥脇直也 明治大学法科大学院教授

「境界未画定海域における自制と協力の義務」

ロバート・ヴォルテツラ ロンドン大学ユニバーシティカレッジ客員教授, ヴォルテツラ・フィエッタ弁護士事務所

「国連海洋法条約第74条3及び第83条3の下での自制義務及び協力義務の違反と, かかる違反への可能な対応 (紛争の裁判所への付託を含む。)」

グエン・ティー・ラン＝アイン ヴェトナム外交学院南シナ海研究所 副所長

「最終的な海洋境界画定に達するまでの間の暫定取決：成功事例の検討」

2月13日(金)

第三部：「国連海洋法条約と海洋紛争の平和的解決」(コーディネーター：奥脇直也 明治大学法科大学院教授)

河野真理子 早稲田大学法学学術院教授

「国連海洋法条約に基づく強制的紛争解決制度の意義と課題」

張新軍 清華大学法学院准教授

「雌鷄, 卵, ひよこ：混合紛争の管轄権に関するジレンマと『フィリピン対中国』仲裁」

マチアス・フォルトー パリ西大学教授 (国際法)

「仲裁手続への第三国参加：国連海洋法条約附属書VIIIに基づく仲裁の二極的性格と同条約の多極的性格の間のギャップを埋める可能な手段として」

閉会の辞： 吉田朋之 外務省国際法局参事官